

様式第1号（第8条、第9条関係）

事業者行動計画書（~~変更計画書~~）

2021年 7月 1日

（宛先）

滋賀県知事

提出者

住所

（法人にあっては、主たる事務所の所在地）

滋賀県大津市栗林町5番1号

氏名

（法人にあっては、名称および代表者の氏名）

日本黒鉛工業株式会社 瀬田工場

取締役工場長 芦田 守

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例（~~第20条第3項~~ ・ ~~第20条第4項~~
~~第22条第1項~~ ・ ~~第22条第2項~~において準用する
同条例第20条第4項）の規定に基づき、事業者行動計画を 策定（~~変更~~）したので、提出します。

事業者の氏名 （法人にあっては、名称 および代表者の氏名）	日本黒鉛工業株式会社 代表取締役社長 渡邊 頼光
事業者の住所 （法人にあっては、主たる事 務所の所在地）	大津市唐橋町9番22号

1 事業所の概要

事業所の名称	日本黒鉛工業株式会社 瀬田工場					
事業所の所在地	滋賀県大津市栗林町5番1号					
主たる事業	細分類番号	2	1	6	9	その他の炭素・黒鉛製品製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を 県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室 効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を 県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第1号

(第1面)

1 計画期間

計 画 期 間	2021	年度	～	2023	年度
---------	------	----	---	------	----

2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

環 境 方 針

事業活動に関わる環境影響を常に意識し環境に関する法令・協定・顧客要求等を順守すると共に管理水準の向上、環境汚染の予防を推進し環境管理システムを活用し継続的な改善を図ります。

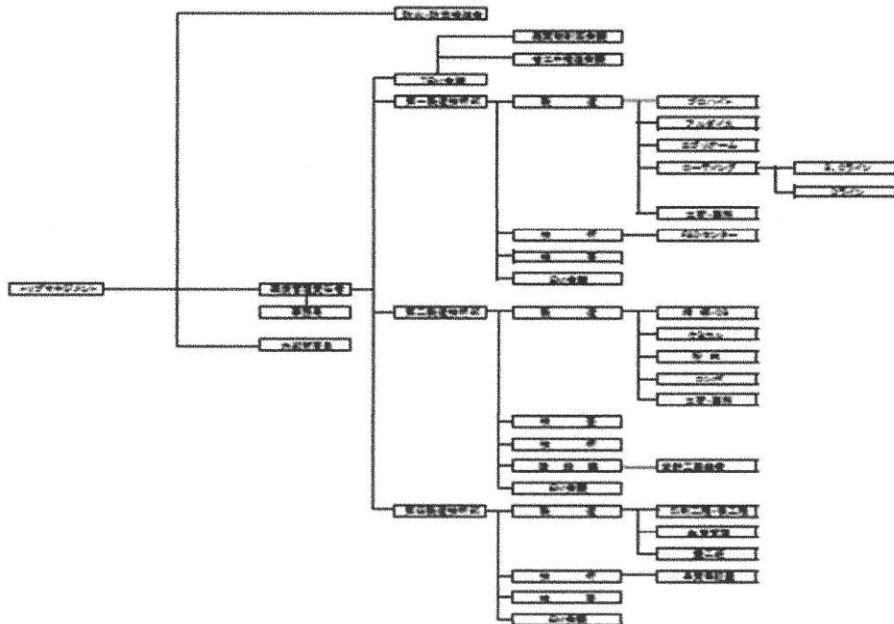
- 1) 環境影響低減のための重点取り組み事項を下記に示します。
 - (1) 天然資源の有効利用とエネルギー等の使用量削減を推進する。
 - (2) 環境負荷物質の発生を抑制し、環境汚染の未然防止を推進する。
 - (3) 産業廃棄物の減量化と分別回収による資源のリサイクルを推進する。
 - (4) 企業戦略として環境に配慮したモノづくりを推進する。
 - (5) 業務改善やコスト低減にもつながる環境に有益な取り組みを推進する。
- 2) 環境目標を設定し、定期的に見直しし、継続的改善を図ります。
- 3) 環境保護の推進達成のため全従業員をあげて活動に取り組みます。
- 4) 本方針は、全従業員に周知するとともに一般にも公開します。

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制

環境方針に基づき、環境目標を設定し、達成するための取組を実施しています。また、推進体制については【環境保全組織体系図】に明記しています。

日本黒鉛工業株式会社瀬田工場EMS組織体系図

作成日: 2005年4月1日
改訂日: 2021年6月1日



備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

(第2面)

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

2018年度

- ①工場エア一漏れ調査及び改善による省エネルギー化
- ②節電意識の向上による省電力化
- ③生産設備の効率化による省燃料化
- ④新乾燥設備の燃焼条件を最適化にする

2019年度

- 工①工場エア一漏れ調査及び改善による省エネルギー化
- ②節電意識の向上による省電力化
- ③生産設備の効率化による省燃料化
- ④新乾燥設備の燃焼条件を最適化にする

2020年度

- ①工場エア一漏れ調査及び改善による省エネルギー化
- ②節電意識の向上による省電力化
- ③生産設備の効率化による省燃料化
- ④新乾燥設備の燃焼条件を最適化にする
- ⑤大型設備の運転時間を最適化にする

(第3面)

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	運用対策	黒鉛粉末生産での特定設備における無駄の削減及び生産効率の向上による電力使用量の1%削減	2023年度末
2	運用改善	加工製品事業:生産でのCO ₂ 排出量を前年度1%以上削減	2023年度末
3	運用改善	黒鉛粉末製品:工程内経費削減活動による無駄の削減	2023年度末
4	運用対策	塗料製品:製造工程の合理化(実施及び計画の提案採用数を年6件以上)	2023年度末
5			
6			
7			
8			

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1			
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

①	黒鉛粉末生産で主要な工程における特定設備を選定して電力使用量を前年度より1%削減を目標とする。単年度に達成した場合は次年度に別設備を選定して順次、生産効率を向上させる事が全体CO ₂ 排出量の削減に寄与する
②	加工製品事業の製品で量産体制が構築され運用が開始する可能性が有り、CO ₂ 排出量を管理して更に前年度1%以上の削減を目標にする
③	黒鉛粉末生産で主要な工程内の経費を削減する事で無駄を省く活動が生産効率や合理化に良い影響を与え、さまざまな生産活動に寄与する
④	塗料製品の生産で製造工程の合理化を検討提案する事でCO ₂ 排出量削減も含めて、無駄の削減及び生産効率の向上により全体のCO ₂ 排出量を削減する

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容等

- ①低燃費、低公害車載電池製造に使われる黒鉛加工製品製造販売
- ②リチウムイオン電池に使用される黒鉛製造販売
- ③住宅用蓄電システムの電池に使われる炭素加工製品製造販売
- ④自動車に搭載されるアルミニウム部品の加工に使用される潤滑剤の製造販売

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

- ①弊社製造の黒鉛加工製品が大きな自動車会社のハイブリッド車載用電池製造に使われており、近年社会現象ともいえるエコカー(低燃費・低公害車)ブームの火付け役ともいえる量産型ハイブリッド車の大幅な燃費改善かつ低価格の実現に大きな貢献を果たしました。
- ②弊社製造の黒鉛粉末が携帯電話やノートパソコンに使われる様なリチウムイオン電池の製造に使われており、従来の二次電池の性能を飛躍的に上げることが出来ました。この様なリチウムイオン電池は再生可能クリーンエネルギー社会の実現に大きな役割もっています。
- ③弊社製造の炭素加工製品が、住宅用蓄電システムの電池に使用されており、太陽光パネル等からの電気を蓄電する事で、安心の生活を支えています。この様な蓄電池の性能アップに弊社製品が貢献しています。
- ④自動車の軽量化にはアルミニウム部品の搭載が必要で有り、鉄加工部品と同等以上の強度を持つアルミニウム部品の製造には鍛造、スクイズダイキャスト等の高度な加工方法が要求され、それに対して対応可能な潤滑剤を製造しており軽量化に貢献しています。

7 その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	実施スケジュール
1	省廃棄物	油水・廃溶剤の排出量を2019年度(28.8t)を維持する	2023年度末
2	環境に配慮した製品開発	環境に配慮した新製品の設計開発を3年で1件以上製品化する	2023年度末
3			
4			
5			
6			
7			
8			